

科目名：日本学メソドロジー基盤B／ Basic Methods in Japanese Studies B

曜日・講時：前期 月曜日 1 講時 文学研究科棟 7F 714 演習室

セメスター：1 学期， 単位数：2

担当教員：佐藤 弘夫（教授）

使用言語：日本語

1. 授業題目：

新領域「日本学」の課題と方法

2. Course Title (授業題目)：

“Japanese Studies” as new Academic Field

3. 授業の目的と概要：

2012年に刊行された佐藤弘夫著『ヒトガミ信仰の系譜』（岩田書院）は、従来、「日本」という限定されたフィールドに閉じ込められていた日本の神をめぐる研究を、国境や言語の違いを超えて誰もが議論できるフォーマットに変換することによって、国際的な学問の舞台に押し上げることを企図したものでした。

本書の内容を一般向けに書き下ろした『日本人と神』（講談社現代新書、2021）を参照しながら、英訳も併せて読み進めていくことによって、「日本学」が国際化にあたって直面する問題点について、認識を深めていくことを目指します。使用するテキストはこちらで用意します。

受講者には自身が担当する章について、その概要とそれぞれの視点からのコメントを発表していただきます。発表の対象者を意識した明晰でわかりやすい報告をどのように作りあげるかという観点から、プレゼンテーションの方法の問題についても議論していきたいと考えています。

4. 学習の到達目標：

「日本学」について各自の専門分野の立場から認識を深めます。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

受講者ごとに担当する章を割り振り、その内容を紹介するとともにコメントを発表してもらい、その発表内容について議論します。全体スケジュールは最初の授業の際に調整します。

6. 成績評価方法：

プレゼンテーションの内容、授業に対する姿勢などを総合的に勘案して判断します。

7. 教科書および参考書：

授業において随時指示します。

8. 授業時間外学習：

授業に備えたテキストの精読と発表の準備が必要となります。

9. その他：